

## 令和4年度第1回 北海道立女性プラザ運営協議会 開催結果

### 1 日時

令和4年10月5日（水） 13：30～14：40

### 2 開催場所

かでの2・7 610会議室

### 3 出席者

#### (1) 委員

上田委員、大島委員、河野委員、酒元委員、森崎委員

#### (2) 事務局

笹谷館長、近藤副館長、大平マネージャー

### 4 議題

#### (1) 令和3年度事業実績

#### (2) 令和4年度事業の執行

##### ① 事業計画及び執行状況

##### ② 購入図書等の推薦

### 5 主な意見

- ・女性大学がオンライン対応を行っているという話があったが、コロナの影響でオンラインによる対応が増えることにより、地方の人間が女性プラザの事業に参加しやすくなることはいいことだと思う。
- ・事業の情報発信については、HPを中心にしながらFBを活用されていると思うが、情報を届けたい子育て世代ではFBは使われていないのが実態。Lineは情報発信には効果的なツール。
- ・Lineの問題点としては、QRコードにアクセスしていただく必要があることがある。そうした能動的な行動をしていない人に情報を届ける方法として、FBのアカウントとInstagramを連動することにより、Instagram上に広告発信する仕組みがある。有料ではあるが、Instagramユーザーである「北海道の女性」などと対象を限定して情報発信ができるため効果的。
- ・セミナーを行う際には、リアルに加えて、オンラインで参加できるようにすることが重要。
- ・ZOOMは使ったことがない人にはハードルが高い。その点、YouTubeは見たことがない人は少ないので、配信するならYouTubeライブの方がよいのではないか。
- ・コロナの関係で、父親がひとりで自宅で育児に関わるケースが増えてきている中で、一番困っているのが料理と言われている。このため、「ケアメン講座」では、簡単にできるお父さん向け調理講座を行ってみてはどうか。
- ・ジェンダー平等に関する問題意識については、若い人が早めに気付くことができる機会が重要であり、問題が起こってから対処するのではなく、大学生、専門学校生に対して情報発信する取組も検討してはどうか。
- ・学校の先生の話ではなく、例えばLGBTの当事者の話を聞くといった方が、学生の興味を引くことができる。